



青南だより

令和7年10月号
港区立青南幼稚園
園長 石川 典子

作品展に向け、子どもたちは自分の思いを絵に表したり、様々な材料を使って自分のイメージに合わせて製作をしたりしています。年長組はグループや学級の友達と一緒に、大きな作品や遊ぶことができる場などダイナミックな作品を作っています。造形活動を通して、学年ごとに用具の使い方や技術、じっくりと取り組む粘り強さを身に付け、創造性が培われています。子どもたちが作り上げた作品に満足し、達成感や成就感を味わっていることを大変うれしく思います。



造形活動を通して、創造力、独自性、主体性、自己表現力等、資質・能力が高まります。

○自由な発想は

「正解が1つ」ではない世界で、自分なりに考え、形にする力となります。

○自分の感性や興味から始めることで

他者の評価を気にせず、自分の「好き」や「不思議だと思うこと」から新しい発想を生み出すことができます。

○試行錯誤を楽しむ

失敗を恐れず、試したり考えたりしながら、新たな可能性を探る力が育まれます。



子どもたちは、造形活動の中で自由な発想で物事を考える体験をしています。「何を考え、どう表現するか」は、個々の子どもたちの自由であり、正解はありません。他者の評価に左右されず、自分の考えをもち、自信をもって表現することは、主体的に学び、行動する力につながります。

現代社会は、AI技術の発展やグローバル化など大きく変化しました。今後の予測不可能な社会に対応するためには、従来型の知識偏重の学びでは困難です。既存の枠組みにとらわれず、新たな価値を創造する能力が求められています。これからの時代を生き抜いていくために必要な「新しい状況に対して柔軟に対応し、自分で答えを見つけ出す力」を子どもたちに育んでいきます。

令和7年度 港区立青南幼稚園経営計画 - 主体性を発揮して みんな笑顔の幼稚園 -

(3) 幼稚園経営の方針

<主体性を発揮する子どもを育む>

- ① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ子ども
- ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ子ども。
- ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ子ども。

